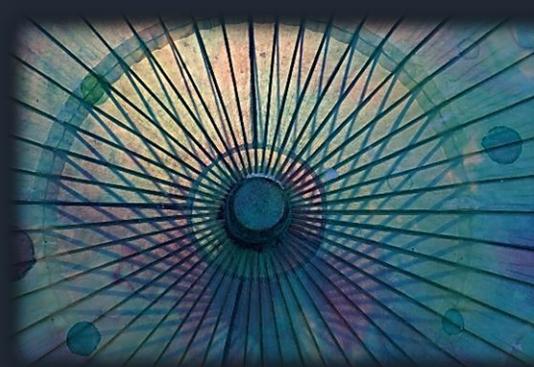


# 城下の手仕事

# 花巻傘



## 関連イベント

- 壁掛け傘作り 7/ 6(土) 13:30~
- ミニチュア花巻傘作り  
7/27(土) 13:30~
- ※要申込 申込受付 6/17(月)から
- 花巻傘製作実演 8/17(土) 13:30~
- ※申込不要
- 花巻傘使用体験 企画展期間中貸出
- ※申込不要

2024年 6/22(土) ~ 8/25(日) 9:00~16:30 会期中無休

花巻市総合文化財センター

〒028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫3-39-1 TEL 0198-29-4567

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

入館料 大人200円 小中高生100円 (花巻市内の小中高生無料)



# 城下の手仕事

# 花巻傘



花巻傘 番傘

約二二〇年前の武士の内職が起源とされる花巻傘は、明治の初めに本業化し、次第に盛んになりました。昭和三〇年代前半まで傘作りは、花巻の主要な産業の一つでしたが、洋傘の急速な普及により、昭和三十六年には、滝田工芸を除いて廃業しました。

本展では、盛岡藩の城下町・花巻の名残りを留める花巻傘の歴史を辿り、傘作りやその魅力について紹介します。あわせて、南に接する仙台藩で製作された口内傘（現・北上市口内町）やイギリス製の洋傘、光を楽しむ現代の花巻傘についても紹介します。

和傘作りは、全国で約二〇軒程度、東北では、山形市と当市にしかない貴重な工芸技術です。和傘本来の美しさとともに、地元の貴重な和傘作り、花巻の町の歴史、身近な文化財に触れる時間をお楽しみください。



開けば花、閉じれば竹

蛇の目傘天日干し

和傘は、開いた時の形や色、模様の華やかさからよく花に例えられます。また、閉じた時には、傘布部分が内側に収まり、元の竹のような形になります。「開けば花、閉じれば竹」は、和傘の美しさを讃える言葉として知られています。

今に伝わる花巻傘

百年を超える和傘工房 滝田工芸

滝田工芸は、三代続く和傘工房です。初代・五郎八は、一九一二年（大正元）年に製造・販売をはじめました。二代・信吉は、父より傘製造の手ほどきを受け、一九三三（昭和八）年から製造販売に従事。滝田工芸の看板を掲げ、先代とともに卸に頼らない直接の営業・販売を続けました。また、ミニチュアの和傘や壁掛け傘などのお土産品も開発しています。三代・信夫氏は、昭和五三年より滝田工芸を継ぎます。傘作りの七六の工程すべてを一人でこなす、全国でも数少ない和傘職人です。工房は百年を超えて傘を作り続けています。



鈴木春信「夜の雨 宮詣美人」（復刻浮世絵）



花巻傘ライトアップ



四十三年十一月花巻川口町附近之圖

## ◆関連イベント

- 花巻傘使用体験 企画展期間中(6/22~8/25) 貸出(雨天使用可)
- 壁掛け傘作り 7/ 6(土) 13:30~ 定員20名 参加費用2,000円~3,000円 要申込
- ミニチュア花巻傘作り 7/27(土) 13:30~ 定員20名 参加費用4,000円~5,000円 要申込
- 花巻傘製作実演 8/17(土) 13:30~ ※要入館料 申込不要

※壁掛け傘作り、ミニチュア花巻傘作りは、使用する和紙によって参加費用が異なります。  
※要申込の体験メニューは、6/17(月)から申込受付開始します。



## 花巻市総合文化財センター

〒028-3203 岩手県花巻市大迫町大迫3-39-1 TEL 0198-29-4567  
開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)  
入館料 大人200円 小中高生100円 (花巻市内の小中高生無料)